

「ラニチジン塩酸塩」における発がん性物質の検出に対する対応について

(第2報)

胃酸分泌抑制薬である「ラニチジン塩酸塩」について、使用されていた原薬に発がん性の恐れのあるN-ニトロソジメチルアミンが微量に混入していたため、各製造販売業者が自主回収を行っています。

現在、当院では一部の患者様に「ラニチジン塩酸塩」が処方されていますが、服用中の薬の中に対象となる医薬品があった場合、自己判断により服用は中止せず、医師又は薬剤師に相談するようお願い申し上げます。

各製造販売会社ホームページでは、本剤の自主回収や費用負担額清算に関する情報が掲載されています。詳細については以下よりご確認ください

グラクソスミスクライン：<https://jp.gsk.com/>

小林化工株式会社：<https://www.kobayashikako.co.jp/>

日本ジェネリック：<http://www.nihon-generic.co.jp/>

陽進堂：<http://www.yoshindo.co.jp/>

武田テバファーマ：<https://www.takeda-teva.com/>

鶴原製薬：<http://www.tsuruhara-seiyaku.co.jp/>

東和薬品：<https://www.towayakuhin.co.jp/>

マイラン製薬：<https://www.mylan.co.jp/>

日医工：<https://www.nichiiko.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

北里大学病院薬剤部（042-778-8123）

2019年10月23日 北里大学病院薬剤部